

森のささやき作品展を開催

彫刻作家の渡辺一夫さんの木彫作品展「森のささやき作品展」が、9月21日から27日にたまねぎぼうや子育て文化研究所（協成）で開かれました。

渡辺さんは、釧路市にアトリエを構え、動物や音楽、優しい少女像などをモチーフとした作品が定評で、全国各地で個展を続けています。

作品展には、7日間で約180人が訪れ、渡辺さんは「作品を喜んでいただけてうれしい」と話していました。

また、作品展で展示された作品「ひまわり」が役場に寄贈されました。



わくわく幼年消防クラブが防火にひと役

町認定こども園わくわく幼年消防クラブの園児が、10月15日に防火パレードと放水体験を行いました。

防火パレードでは「火の用心、マッチ一本火事のもと」と大きな声で防火を呼び掛け、消防庁舎から役場庁舎まで歩きました。

園児たちは「火遊びは絶対にしません」などと誓い、役場庁舎前で行われた放水体験に、真剣な表情で取り組んでいました。



訓中学校祭

生徒たちが舞台上で熱演

訓子府中学校の学校祭が10月19日に開かれました。

学校祭では、各クラスが劇を披露。舞台上で各生徒がそれぞれの役になりきって、練習の成果を存分に発揮していました。

ロビーには、美術作品などが多数並び学校祭を盛り上げていました。



まちのわだい ～カメラスケッチ～



訓小で人権擁護教室

人権擁護委員による人権擁護教室が、9月26日に訓子府小学校1、2年生を対象に開かれました。

この教室は、人権に対する意識を高めることを目的に開かれています。

この日は、人権に関するDVDを鑑賞し、人権擁護委員の山本さんは「人にされて嫌なことは他人にしない、困った人がいたら助けてあげて」と呼び掛けていました。



訓高マラソン大会

男女61人が力走

訓子府高校恒例のマラソン大会が、9月28日に開かれました。

男子28人、女子33人の合わせて61人が参加し、男子18km、女子12kmのコースを走りました。

この日は、好天に恵まれ、参加者は、元気いっぱい走り、汗を流していました。



牧場からわが家へ 354頭が退牧

町共同利用模範牧場の一斉退牧が、10月18日に行われ、354頭が町内外の「わが家」に戻っていききました。

春に入牧し、5か月間、広い牧場でゆったりと過ごしてきました。なかなかトラックに乗り込まず、作業員を手こずらせる牛もいましたが、最後はおとなしく牧場を後にしました。

